

## ■ハング競技委員会議事録

### ◆日時

2014年3月21日（金）15:00-18:00

### ◆場所

足尾ショップ

### ◆参加者

板垣（委員長）、北野、鈴木、内田、牟田園、野尻

### ◆議事録

牟田園

### ◆議題

#### 1.前回の持ち帰り事項

板垣

- ・大会結果報告書のフォーマットを更新する

⇒継続課題

北野

- ・競技規定に記載の名称（デパーチャーオープンなど）を世界基準の表現に統一する

⇒継続課題。原本は牟田園が送る。

- ・デジタル無線機への移行についてのルール変更の文書を作成し JHF レポートに載せてもらう

⇒対応完了。JHF レポートで告知済み。

牟田園

- ・過去のシリーズ登録状況を4月中に整理して、今後の対応の検討資料にする

⇒野尻に依頼する。

- ・ポイント大会のカテゴリー2申請を推奨する旨を文書化し、主催者側にも告知する

⇒継続課題。

- ・大会主催者に対して、大会申請に必要なものを HP に明示し、告知する

⇒継続課題。

- ・シリーズ登録費の徴収方法を変更することに関して、JHF 事務局にお金の流れを問い合わせる  
大会主催者にもルール変更を周知する。

⇒継続課題。

- ・鈴木が作成したインドネシア視察報告書を確認して競技委員会に掲載する

⇒対応完了。

鈴木

- ・Nominal Goal を 30%に変更したときの影響を確認する

⇒継続課題。

内田

- ・2010年度に実施した選手の意識調査について調査した結果を競技委員にメールで展開する  
⇒取得したデータの鮮度が低くなってしまったため、対応を見送る。
- ・前回の競技委員会の議事録を全体に送付する  
⇒対応完了。

## 2.議題・報告

### 2.1.ライブトラッキング

- －JHF から予算を獲得するために足尾の大会でテスト運用して実績を作る  
⇒ローカル大会で実績を作って競技委員会にフィードバックしていく。

### 2.2.大会保険の案内整備

- －JHF 事務局とのやりとりを文書化して告知します  
⇒牟田園が整理して告知する。

### 2.4.Civil 総会の報告（北野）

- ・パラ競技委員会のページに掲載されている議事録のリンクをハング競技委員会ページに追加する
- ・次年度のルール改定へのフィードバック
  - －タスクストップ時の滑空費 5:1 ルール
  - －選手がタスクを評価する欄をタスクレポートに追加するように大会主催者に伝える
  - －オーストリアでは IPPI カードを持っていてもフリーフライトはできない
  - －海外でのフリーフライトを予定しているパイロットには IPPI カードの取得を推奨する
  - －次回も出来れば北野が参加する

### 2.5.JHF 理事会の報告（板垣）

- －リジット・女子・クラス1 スポーツクラスの世界選手権に合わせて 70 万円の予算がついた
- －板垣は今後、競技指導者の育成に注力していく

### 2.6.女子・リジット世界選手権の状況確認

各国、各クラスに 6 人が参加枠、7 人目は補欠（全体のエントリー選手数に応じて変動あり）  
4/5 までの WEB エントリーが必須。エントリーフィー振込みは 4/20 まで。4/21 以降に参加枠の追加あり。  
JHF からの助成金の用途・按分はチームリーダーに一任する。  
開催要項、エントリー締切期限、選考順位は選手に通達済み。

- ・クラス 5 世界選手権
  - －参加選手調整中。（古坂、富原、山本、塩野、太田、小林、境、林寺）
- ・女子世界戦
  - －7 人のメンバーが確定（磯本、野尻、谷古宇、桜井、鳥海、鈴木樹、[内田]）
- ・スポーツクラス
  - －岡田、（太田）

## 2.7.男子世界選手権のワイルドカード

- ・砂間選手が選考対象に該当するかどうか

[結論]：ワイルドカード選抜対象とする

[今後の対応]：参加人数の定義を明文化する

⇒次回議題へ持ち越し

ワイルドカードが対象となる大会の定義（成立日数など）

⇒次回議題へ持ち越し

## 2.8.世界選手権の選考期間

次回への持ち越し議題

## 2.9.スポーツクラスの開催

今後の競技人口拡大に向けて、競技委員会として開催の方向で前向きに検討する。

## 2.11.次期競技委員の選考

板垣：競技委員長、競技指導者の育成

北野：大会公認申請の確認、CiVLとの渉外

鈴木由：アジア選手権の調整、大会集計

野尻：板垣委員長のサポート

牟田園：HP管理、シリーズ登録(\*)

## 2.12.競技委員会運営

- ・申請書類をチェックした際は、異議がない場合でも、その旨を競技委員会内で表明すること！

## 3.持ち帰り事項

板垣

- ・大会結果報告書のフォーマットを更新する

北野

- ・競技規定に記載の名称（デパーチャーオープンなど）を世界基準の表現に統一する
- ・デジタル無線機への移行についてのルール変更の文書を作成し JHF レポートに載せてもらう

牟田園

- ・過去のシリーズ登録状況を4月中に整理して、今後の対応の検討資料にする
- ・ポイント大会のカテゴリー2申請を推奨する旨を文書化し、主催者側にも告知する
- ・大会主催者に対して、大会申請に必要なものをHPに明示し、告知する
- ・シリーズ登録費の徴収方法を変更することに関して、JHF事務局にお金の流れを問い合わせる  
大会主催者にもルール変更を周知する。
- ・鈴木が作成したインドネシア視察報告書を確認して競技委員会に掲載する

鈴木

- ・ Nominal Goal を 30%に変更したときの影響を確認する

内田

- ・ 2010 年度に実施した選手の意識調査について調査した結果を競技委員にメールで展開する
- ・ 前回の競技委員会の議事録を全体に送付する